

膵臓移植希望者(レシピエント)選択基準 新旧対照表

別紙 5

改正後	現行基準
1. 適合条件 (1) (略) (2) <u>前感作抗体</u> 1. <u>事前に抗HLA抗体検査(スクリーニング検査又は抗体特異性同定検査)を実施し、陰性の場合は、リンパ球交叉試験を省略する。</u> 2. <u>抗HLA抗体検査が未実施又は陽性の場合は、リンパ球交叉試験を実施し、陰性であることを確認する。</u> 3. <u>ただし、肝膵小腸同時移植を目的として、膵臓移植希望者(レシピエント)への登録を行う場合は、リンパ球交叉試験を実施する必要はない。</u> 2. 優先順位 適合条件に合致する移植希望者(レシピエント)が複数存在する場合には、優先順位は、以下の順に勘案して決定する。 <u>なお、肝膵小腸同時移植のために、膵臓移植希望者(レシピエント)に登録している場合は、(2)～(4)は勘案しない。</u> (1)～(4) (略) (5) <u>膵臓移植(腎移植後膵臓移植、膵単独移植)と膵腎同時移植と肝膵小腸同時移植</u> ① 臓器提供者(ドナー)から膵臓及び腎臓(2名の腎臓移植	1. 適合条件 (1) (略) (2) <u>リンパ球交叉試験(全リンパ球又はTリンパ球) 陰性</u> 2. 優先順位 適合条件に合致する移植希望者(レシピエント)が複数存在する場合には、優先順位は、以下の順に勘案して決定する。 (1)～(4) (略) (5) <u>膵臓移植(腎移植後膵臓移植、膵単独移植)と膵腎同時移植</u> ① 臓器提供者(ドナー)から膵臓及び腎臓(2名の腎臓移植

脾臓移植希望者(レシピエント)選択基準 新旧対照表

希望者(レシピエント)に提供される場合に限る。)の提供があった場合には、脾腎同時移植、腎移植後脾臓移植、脾単独移植の順に優先される。ただし、脾腎同時移植希望者(レシピエント)が優先されるのは、DR座の1マッチ以上のHLA型の適合がある場合に限る。 ② ①以外の場合には、脾腎同時移植以外の希望者については、腎移植後脾臓移植、脾単独移植の順に優先される。 ③ <u>①、②に該当するレシピエントがいない場合は、肝脾小腸同時移植希望者(レシピエント)にあっせんされる。</u> (6) ～ (10) (略)	希望者(レシピエント)に提供される場合に限る。)の提供があった場合には、脾腎同時移植、腎移植後脾臓移植、脾単独移植の順に優先される。ただし、脾腎同時移植希望者(レシピエント)が優先されるのは、DR座の1マッチ以上のHLA型の適合がある場合に限る。 ② ①以外の場合には、脾腎同時移植以外の希望者については、腎移植後脾臓移植、脾単独移植の順に優先される。 (新設) (6) ～ (10) (略)
---	--